

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	兵庫県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	西宮市立鳴尾中学校					
学年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	5	5	5	3	18	31
生徒数	170	190	189	7	556	

研究の概要

1. 研究主題

自ら考え、自ら学び、主体的に活動する生徒の育成
基礎・基本の定着を図り、個を生かし伸ばす指導の工夫

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

1・3学年 (数学)
教科については、昨年度の実績をふまえ、少人数授業を行うことによって、計算力等、基礎的な学力を身につけさせるためには、最も効果が上がる教科と考えた。
学年については、第1学年は、初期の段階で基礎・基本の定着を図り、今後、より高度になる課題に対応する力を身につけるため、また、第3学年は、自ら進路を切り開くため、個に応じたきめ細かな指導がより必要な学年と考えた。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度
テーマ
少人数授業を利用した、きめ細かな指導を実施し、その成果と課題をさぐる。
研究の見通し(仮説)
少人数授業を実施することにより、学習規律の確立を図り、個々の生徒の学力に応じた、きめ細かな指導が展開できると考える。
また、少人数授業による効果と問題点を探り、指導方法、教材開発等、より具体的な取り組みへの足がかりとする。
研究の内容・方法
(数学科において)
・第3学年の全クラス、全授業で少人数授業(2つの学習集団を編成)を実施した。
・学習集団の編成は、出席番号の奇数集団・偶数集団により編成した。
・教室と調べ学習室にわけて、約20人で授業を行った。
・単元終了ごとに教科担任を入れ替えた。
・各時間終了後、又は教科打ち合わせの時間において、進度、指導方法の交流を行った。
・少人数授業による、効果と課題をさぐり、よりきめ細かな指導方法を工夫した。
(国語科において)
・第1学年の全クラス、週3時間の授業のうち1時間、第3学年全クラスにおいて、週3時間の授業のうち2時間を少人数授業と同室複数授業を併用して実施した。
・少人数授業に関しては、単元、学習内容を考慮し、学習室、図書室等を利用しておこなった。

平成15年度
テーマ
少人数授業を利用した、よりきめ細かな指導方法を工夫する。
研究の見通し
前年度の課題と反省を基に、個々の生徒の学力に応じたきめ細かな指導方法を工夫改善することにより、学習意欲を喚起し、基礎基本の定着が図れるものと考えた。
研究の内容・方法
・第1学年・第3学年の数学、全クラス、全授業で少人数授業(2つの学習集団を編成)を実施した。
・学習集団の編成は、出席番号の奇数集団・偶数集団により編成した。
・教室と調べ学習室にわけて、約20人で授業を行った。
・前年度の反省を基に、より長いスパンで教科担任を入れ替えた。
・ワークシートを利用し2つの学習集団の進度の調整を図った。

年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法の工夫改善と、評価の統一を図るため、第3学年2学期後半から、単元と教師を固定し、2つの学習集団で異なった単元を履修する方法を試みた。 					
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">A集団</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">B集団</td> </tr> <tr> <td>前半 A教諭 単元A</td> <td>B教諭 単元B</td> </tr> <tr> <td>後半 B教諭 単元B</td> <td>A教諭 単元A</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室内の生徒の座席配置については、指導方法・指導内容により、個々の能力、個性等を配慮し工夫した。 	A集団	B集団	前半 A教諭 単元A	B教諭 単元B	後半 B教諭 単元B
A集団	B集団					
前半 A教諭 単元A	B教諭 単元B					
後半 B教諭 単元B	A教諭 単元A					

平成 16 年度	<p>テーマ 少人数授業を利用した、きめ細かな指導方法により、基礎学力の定着と学力向上を図るための教材を開発する。</p> <p>研究の見通し 少人数授業によるきめ細かな指導方法を確立し、個々の生徒の学力に応じた教材を開発することによって「確かな学力」の向上を図れるものとする。</p> <p>研究の内容・方法 2年間にわたる指導方法の工夫改善を基に、個に応じた教材開発を推進する。</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制

<ul style="list-style-type: none"> ・研究部 新学習システム推進 数学科 ・新学習システム推進委員会 (校長・教頭・新学習システム推進担当・教務担当・研究担当・学習指導代表・学年代表・担当教科) ・数学科、教科打ち合わせ
--

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果 (少人数授業に関して)

【3年生】

		よく当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1. 勉強の内容がよく分かる	9月	36%	52%	9%	3%
	2月	35%	49%	9%	7%
2. 進んで手を挙げて答えている	9月	13%	24%	39%	24%
	2月	17%	19%	32%	32%
3. 先生や友達の話をよく聞いている	9月	24%	64%	12%	0%
	2月	37%	50%	11%	2%
4. 自分の力で学習問題を解決しようとしている	9月	18%	52%	27%	3%
	2月	29%	44%	20%	7%
5. 分からないことなどは先生に聞きやすい	9月	30%	52%	3%	15%
	2月	35%	38%	17%	10%
6. その教科が好きになってきている	9月	21%	37%	21%	21%
	2月	11%	35%	29%	25%
7. 少人数授業は自分にあっている	9月	24%	52%	24%	0%
	2月	24%	49%	23%	4%

【1年生】

		よく当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1. 勉強の内容がよく分かる	9月	19%	53%	28%	0%
	2月	19%	51%	25%	5%
2. 進んで手を挙げて答えている	9月	16%	28%	28%	28%
	2月	19%	26%	32%	24%
3. 先生や友達の話をよく聞いている	9月	16%	56%	28%	0%
	2月	18%	53%	26%	3%
4. 自分の力で学習問題を解決しようとしている	9月	22%	41%	28%	9%
	2月	21%	39%	32%	8%
5. 分からないことなどは先生に聞きやすい	9月	13%	22%	44%	21%
	2月	16%	27%	44%	13%
6. その教科が好きになってきている	9月	0%	50%	38%	12%
	2月	14%	33%	41%	12%
7. 少人数授業は自分にあっている	9月	22%	41%	37%	0%
	2月	19%	47%	31%	3%

(学校や家庭での学習の取り組みについて)
【3年生】

		よく当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1. 分からないことは進んで質問している	9月	15%	31%	36%	18%
	2月	17%	28%	38%	17%
2. 難しい問題にも進んで挑戦している	9月	10%	33%	30%	27%
	2月	13%	36%	35%	16%
3. テストでできなかった問題を後で確かめている	9月	16%	45%	30%	9%
	2月	18%	35%	29%	18%
4. 興味や関心のあることは、進んで調べている	9月	22%	45%	18%	15%
	2月	21%	35%	34%	10%
5. 学習用具は、忘れずに持ってきている	9月	55%	33%	9%	3%
	2月	45%	40%	11%	4%
6. 宿題は忘れずにやっている	9月	15%	37%	42%	6%
	2月	13%	31%	40%	16%
7. 宿題がなくても進んで予習や復習をしている	9月	12%	25%	39%	24%
	2月	10%	20%	42%	28%

【1年生】

		よく当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1. 分からないことは進んで質問している	9月	9%	35%	34%	22%
	2月	10%	24%	51%	15%
2. 難しい問題にも進んで挑戦している	9月	9%	41%	47%	3%
	2月	9%	30%	45%	16%
3. テストでできなかった問題を後で確かめている	9月	19%	38%	31%	12%
	2月	8%	32%	38%	22%
4. 興味や関心のあることは、進んで調べている	9月	13%	53%	31%	3%
	2月	19%	35%	33%	13%
5. 学習用具は、忘れずに持ってきている	9月	25%	56%	16%	3%
	2月	26%	46%	25%	3%
6. 宿題は忘れずにやっている	9月	31%	44%	22%	3%
	2月	24%	37%	28%	11%
7. 宿題がなくても進んで予習や復習をしている	9月	6%	16%	50%	28%
	2月	4%	20%	37%	39%

2. 今後の課題

各クラスを出席番号によって、2つのグループに分け少人数指導を行ってきたが、この学習集団の編成方法が形式的であるために個に応じていない。少人数指導を十分に活かすことのできる学習集団の編成について、さらなる工夫が必要であると考えます。

教師の指導方法に偏りがないように、また、全ての生徒を見ることができるよう、一定期間で指導者が交代する方法をとってきたが、そのタイミングが適切であったかどうかを考えなければならない。

きめ細かな評価を2人の教師が行うことが、本年度は非常に困難であった。統一した評価基準や評価方法をとることによって、2つのクラスの格差が出ないように試みたが、そのために少人数であることの利点を活かすことができなかった。少人数であるからこそ可能な、きめ細かな評価の研究を進めなければならない。

少人数指導における教材開発をすることをテーマにしてきたが、有効な教材を開発するまでに至ることができていない。少人数であることを最大限に生かす教材を開発しなければならない。

学力把握のための学校としての取組

基礎的な計算力を把握するために、年度当初に小テストを実施した。また、年度末に、同様の小テストを実施し学力の定着具合の変容を分析する。

該当学年において、年度当初、及び年度末に少人数授業、家庭学習に関するアンケート調査を実施し、生徒の変容・今後の課題等を掴む。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

年度当初の学年PTAにおいて、少人数授業の実施と概要について説明
 学校通信による少人数授業の啓発
 管外視察の積極的な受け入れと情報交換
 市内教頭研修会における推進状況の発表
 市内数学科授業研究会、校内の授業参観等における授業公開

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】       15年度からの新規校                      14年度からの継続校

【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                      16学級以上

【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他

【研究教科】               国語                       社会                      数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                      その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】              有                      無